



特定非営利活動法人 山崎・谷戸の会
会報 第125号 2025年1月5日発行

本会は、鎌倉中央公園の貴重な谷戸景観と多彩な動植物を保全するため、市民活動を実践していたメンバーが中心となり、行政との協働で立ち上げたものです。

冬の間は、土作りにこつこつと励みます



土壌改善

谷戸が枯れ葉色に鎮まる時こそ、来期に備えて土を肥やす作業が肝心です。当会の4つの堆肥置き場に、たくさんの落ち葉を積み、畑では作業から出た廃棄物を灰にしてすきこみます。今年も豊かな谷戸の恵みにあずかれますように。

お知らせ

どんど焼き 1/13(祝・月)
(予備日 14(火))

場所：野外生活体験広場

山崎の伝統行事を引き継いでいます。

(公財) 鎌倉市公園協会と

協働で開催します。

お椀とお箸を
ご持参ください!



(公財)イオン環境財団助成決定

年々多様な作業が増える中、とても役立っています。

去年の様子



稲わら
細工
「巳年」



例年冬鳥がやってくる季節ですが、今年は種類も数も少ないです。湿地にたくさんやってくるアオジが少ないほか、カシラダカなど冬に来る小鳥が来ません。北

日本の雪で1月頃に増えてくることを期待しています。夏の猛暑の影響なのか、モミジの葉先が枯れてしまう現象が起きています。11月25日の夜に季節外れの豪雨が降り、クモの巣がたたき落されたらしく一斉になくなってしまいました。こ

この日を境に虫の世界は冬を迎えた感じで

す。12月初めにカヤネズミの巣の調査

アオジ

をしました。今年は調査日が一カ月ほど遅れたためか巣が見つかりませんでした。巣が少ない年回りということもあるかもしれませんが、来年はどうなるのでしょうか。

●谷戸の生きものを守るために1 新しい試み

谷戸に昔からある田畑や雑木林を、なるべく昔ながらの方法で続けることが、生きものを守る基本です。生態系保全班や植物育成班では、田畑の周辺にあって手入れが届きにくい水路や湿地の環境維持作業をしてきました。ところが、前号で書かせてもらったように、環境は変わらないのに、一部の生きものが減ってきています。従来の里山管理だけでなく、新しい方法が求められている時期なのかもしれません。これには成功事例もあり、アカガエルの卵を移動してネットをかけて保護することで成果を上げつつあります。生態系保全班のメンバーの中にも、積極的に新しい方法を取り入れてはどうかという機運が高まり、虫の越冬場所や繁殖場所を人工的に提供する試みを始めました。「インセクトホテル」と称し、近年話題になっている方法です。これは昔の里山にはどこにもあった、古い道具置き場や古民家を様々な生

カシラダカ



インセクトホテル

きものが利用していたのを再現する意味があります。建物の隙間や穴が多く生きもの棲み処になっていたのですが、現代の谷戸にある建物やスチール製の物置ではあまり棲めません。「インセクトホテル」を本田の近くに設置するという案もありましたが、すでに道具置き場があるので、隣接地に設置するより、道具置き場や建物から遠い小段谷戸に置くことになりました。もし「インセクトホテル」の効果が確認

できれば、来園者への啓発材料にもなるのではないかという意見もあります。今まで、生態系保全班では谷戸になかったもの設置する場合、アカガエルのネットのように、数年間の経過観察と必要性を確認しながら実施してきたつもりです。今回は設置が先行しましたが、しっかりと経過観察をしながら効果を確かめたいと思います。

田んぼ班



初穀くん炭とむしろ編みの季節を控え、新米に喜びをかみしめたのも束の間、ネズミが出没。大切なお米をスチール物置や衣装ケースに収納しましたが、物置の中にもその痕跡が！どうなることか…ネコの手を借りる？

雑木林管理班



昨年 11 月に雑木林を調査し、今シーズン間伐予定の木を選定しました。毎週、間伐、枝打ち等を行い、春先には薪も作る計画です。その他、スギまたはヒノキも伐採し、はさの材にする予定です。

畑班



2 年続けて落花生が大豊作だった。一方でさといもはこのところずっと不作。ここ数年畑の土壌の変化が気になっていたが、落花生の生産日本一を誇る千葉県八街市の乾燥した土壌に似てきたのかな。



11/10 間伐



12/18 たくわん漬け

自然遊び班



まめをむくのがたのしかった。(1年) かぶとむしのようちゅうをはじめて見れてうれしかった。(2年) 山あるきは、がけがたいへんだった。うわぎにチクチクがくっついてたかった。さつまいものみつが多くておいしかった！(3年)

生態系保全班



カヤネズミの調査を一生懸命しましたが見つかりませんでした。アシ原の手入れを行うときに発見できることを願っています。野鳥が見やすくなる時期です。昨年との違いを含め観察していきます。



12/4 カヤネズミの調査

植物育成班



挿し木をしたリュウノウギクの新芽があるか観察しました。5 年ぐらいで突然枯れることがあります。野草の不思議なところ。カナムグウ除去も怠れません。太い根を見つけたときは嬉しいです。

農芸班



予想外に成長した大根を無事に漬け込み終了。陽をいっぱい浴びた葉はお風呂に入れて冷え対策。無駄にしない先人の知恵。梅の木の根元に堆肥撒きも完了。天候不順な年でも変わらず活動できたことに感謝。

谷戸の生きもの

谷戸のへびたち

イエーイ！巳年だ！

巳年にちなんで谷戸のへびを一挙公開・・・といっても代表的な4種だけね。

ニホンマムシ・・・有名な毒蛇だが実物を見た人は少ないのでは。私が谷戸で初めて見たのは数年前。嬉しさに何枚も写真を撮り、嫌がって逃げようとするへびに「今度はアップで！」と接近したところ突然牙をむいて反撃してきた。その時は飛び退いて助かったが・・・今なら多分噛まれているだろう（良い子はまねをしないでね）。植物育成班が貴重な植物を保護している“野草畑”近くにいることが多い。どうせなら盗掘に来る人をガブリとやってほしいものだ。

ヤマカガシ・・・毒蛇だが牙が上顎の奥にあり2mm以下なので人の被害はない。アズマヒキガエルを捕えていたので、これまた散々撮影した後に「アップで！」と接近したら獲物を離して立ち去った。でも毒が回ってヒキガエルは南無～。



ニホンマムシ(野草畑近く)



ヤマカガシ(寺分口)



シマヘビ(本田)

シマヘビ・・・田んぼでシュレーゲルアオガエルを捕えていた。散々撮影した後に「アップで！」とお願いしたら獲物を離して行ってしまった。へびはアップが苦手らしい。毒がないので彼（彼女？）は九死に一生を得た！「このご恩は決して・・・」とこちらも逃げていった。



アオダイショウ(炭焼き小屋近く)

アオダシショウ・・・谷戸では一番目にする。木にも登りタイワンリスを捕えた姿も目撃されている。

(たのくろまめお)

谷戸往来

深小ふれあい広場 5年生が体験学習を行った田の藁で、縄ない、むしろ編みを行いました。藁に初めて触れる子どもたちも、手先を動かし楽しんでいました。

11/30(日)

かまくらっ子スペシャルプログラム
「お正月かざり」親子体験
開催 12/21(土)

33組80名参加。
楽しく稲藁とふれあい、交流することができました。



もしかま防災イベント 11/30(土)～12/1(日)

鎌倉FM主催 鎌倉市後援「もしかま」開催
防災時広域避難所でもある鎌倉中央公園での開催でした。野外生活体験広場でテントに泊まり、災害時のシュミレーション講座が行われました。身近な自然を守ることは、防災にも役立terることを共有できました。

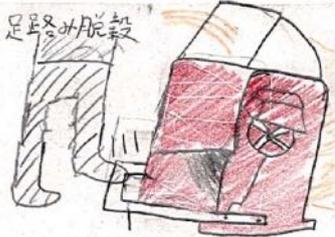


仮設トイレ

体験学習

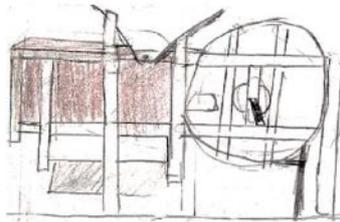
深沢小5年 脱穀 10/15

★谷戸ではむかしながらの手動のものでできて、しんせんでした。最初はかげんをちょうせつできたり、安全面でもしんばいでしたが、みんなで協力してやるのはとても楽しかったです。

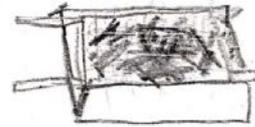


★最初は足ぶみだっこきをふむタイミングが合わなかったけど、だんだんとなれてきてできるようになった。しかもお米が46kgぐらいとれたことにおどろきました。

★とんできたお米のおこぼれを拾うのも楽しかったです。2番目に楽しかったのは、米を風で分別(ゴミを選別)する機械です。米をうまくとびらにおとすのが少しむずかしかったけど、風をおくるのがそうかいだった。



★古い機械を使った後、昔の人は年ぐを納めたりして、さらに大変だったのを実感しました。



★手作業で米をいねから取る作業

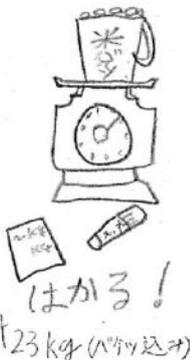
が一番むずかしかったです。でもだんだんやってきたらなれてきて、最後は好きになりました。

★むずかしかったのは、お米をかせにあてて、こみをとるきいのあなをあけて、ちょうせつするところでした。がんばってつくったお米をたべるの楽しみです。



富士塚小5年 脱穀 11/8

★ずっとほうきとかではいていたけどたのしかったですうー。そうじができるようになりました。



はかる!
計23kg(バケツ込み)

★とうみがせんぶうき(手動の)みただった。千歯こきのとげとげのところって、あんなにとげとげにするいみあったのかな?と思った。

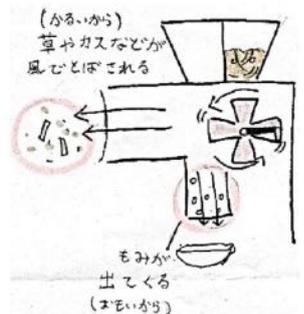


★私はとうみが一番おもしろかったです。なぜならグルグル回したり、風がくるのがきもちよかったからです。食べるのが楽しみです!

★千歯こきは、いねを歯の部分に引っかけて、自分の方に引くのが気持ちよかったです。

★むかしのどうぐやお米をどうとればいいのかがよくわかった。

★とくに楽しかったのは足ぶみ脱穀機です。足ぶみがむずかしかったけどコツをつかむと楽しくなりました。



教育支援教室ひだまり 落花生の収穫 10/13

★「大まさみ」という大きなつぶの落花生もあって、ひとかぶにもたくさんのみがついていて、大きいみと小さいみにわける作業も株をほりおこす作業も大変でした。

★一番おどろいたのは、1株に30~40個くらい落花生が付いていることです。そのうち半分ぐらいは「小さい」又は「穴あき」なので、食べられるのはおよそ半分ぐらいです。(それでも合計15kg・・・)



★らっかせいはねっこの方についていて、ねっこを切ってしまうとばらばらになってしまうので、きをつけてほりました。そのあとばらばらにする作業も体験しましたが1つのかぶに大量についているので、とるのがたいへんでした。でも楽しかったです。

1月

- 5日(日) 田 堆肥切り返し、むしろ編み ☆
 雑 雑木林の調査・測定 ♣ ☆
- 12日(日) 田 粃殻くん炭、堆肥撒き、むしろ編み ♣
 雑 雑木林の除間伐
- 13日(月・祝) どんど焼き
- 15日(水) 畑 畑の整備
 植 土手の草刈り作業
- 19日(日) 田 粃殻くん炭、むしろ編み
 雑 間伐材整理 ♣
 自 父と子の里山体験 ▶
 「たき火をして五平餅を作って食べよう」
 講座「雑木林の管理」☆
 青空自主保育にこにこ会保全活動
 青空自主保育やんちゃお保全活動
- 20日(月) 畑 荒起こし ☆
- 22日(水) 生 カエル産卵場所整備
- 26日(日) 田 粃殻くん炭、苗床耕し
 雑 雑木林の除間伐
 青空自主保育なかよし会保全活動
- 27日(月) 畑 じゃがいも予定地の耕し ♣

2月

- 2日(日) 田 粃殻くん炭、畔直し ☆
 雑 園内整備 ♣
- 3日(月) 畑 さつまいもの苗床作り ☆
- 5日(水) 植 湿地の草刈り作業
 農 味噌作り ♣
- 9日(日) 田 粃殻くん炭、畔直し、土壌改良 ♣
 雑 雑木林の除間伐 ☆
- 12日(水) 生 カエルの卵の観察 ♣
 講座「野鳥観察」☆
- 16日(日) 雑 雑木林の除間伐 ♣
 自 里山探検隊「収穫祭」
- 17日(月) 畑 たのくろ豆予定地の耕し
- 19日(水) 生 カエルの卵の保護作業
- 23日(日) 雑 雑木林の除間伐
- 26日(水) 畑 じゃがいも植付けの準備

3月

- 2日(日) 田 道具の手入れ ☆
 畑 道具の手入れ ☆
- 雑 山作業道具の手入れ ☆
- 5日(水) 植 早春の植物の観察 ♣
- 9日(日) 田 畔・水口直し
 雑 雑木林の除間伐 ♣
 自 父と子の里山体験 ▶
- 10日(月) 畑 さつまいもの洞出し・伏せ込み ☆
- 12日(水) 生 オタマジャクシの観察 ♣
- 16日(日) 田 畔・水口直し
 雑 雑木林の除間伐
- 17日(月) 畑 じゃがいもの植付け ♣
- 23日(日) 雑 斧で薪割り
- 30日(日) 雑 間伐材の活用 ♣
 講座「紙漉き」☆

☆ 谷戸塾

田 田んぼ班
 雑 雑木林管理班
 自 自然遊び班
 植 植物育成班

♣ 里山一日体験

畑 畑班
 農 農芸班
 生 生態系保全班



<集合時間・集合場所>

各班活動 時間:9:30 場所:農家風休憩舎
 (農芸班、自然遊び班は、10時~)

<▶マーク> 非会員 参加費500円/1組
 (申し込みはホームページより)

次号(会報126号):2025年3月発行予定
 会費:郵便振替口座番号 00270-6-115647

<お問い合わせ>

住所:
 〒247-0066
 鎌倉市山崎1667鎌倉中央公園管理事務所内

TEL/FAX:
 0467-47-1164 (木曜を除く10時~16時)

ホームページ:
<https://yato-yamasaki.sakura.ne.jp>

メールアドレス:
ya-yato@arrow.ocn.ne.jp



QRコード
 からHPに
 アクセス!